

## 令和2年7月の解説（週間天気予報）

### 【7月の天候状況】

上旬は、日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が強く、梅雨前線は東日本・西日本付近に停滞しやすくなっていました。日本付近で偏西風が蛇行して黄海付近が気圧の谷となり、太平洋高気圧の縁辺を回る湿った空気と中国大陸から梅雨前線に沿って西から流れ込む湿った空気が日本付近で合流したため、梅雨前線の活動が非常に活発となり、東日本・西日本を中心に各地で長期間にわたって大雨となりました。4日は熊本県・鹿児島県、6日は福岡県・佐賀県・長崎県、8日には岐阜県・長野県で大雨特別警報が発表されるなど、河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害が発生しました。降水量は北日本日本海側と東日本・西日本でかなり多く、日照時間は東日本と西日本太平洋側でかなり少なくなりました。東日本日本海側の日照時間は平年比25%でかなり少なく、7月上旬として1961年の統計開始以来第1位の寡照となりました。平均気温は、低気圧に向かって暖かい空気が流れ込みやすかった北日本と、太平洋高気圧の縁辺を回る暖かい空気が流れ込みやすかった沖縄・奄美で高くなりましたが、曇りや雨の日が多かった西日本では低くなりました。沖縄・奄美では、期間の前半は暖かく湿った空気が流れ込みやすく曇りや雨の日が多くなりましたが、期間の後半は太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

中旬は、日本の南海上で太平洋高気圧の勢力が強く、梅雨前線は東日本・西日本付近に停滞しやすくなっていました。梅雨前線上を進む低気圧の影響で、東日本・西日本では大雨となった所がありました。曇りや雨の日が多かったため日射が少なく、北からの冷たい空気の影響を受ける日もあったため、平均気温は西日本でかなり低く、東日本で低くなりました。北日本日本海側では高気圧に覆われやすく晴れた日が多かったため日照時間はかなり多くなりましたが、北日本太平洋側では期間の後半を中心に東からの湿った気流の影響を受けやすかったため曇りや雨の日が多く、日照時間は少なくなりました。沖縄・奄美では、期間のはじめは太平洋高気圧が張り出して晴れた日がありましたが、期間の後半は前線や湿った気流の影響で曇りや雨の日が多くなりました。なお、20日ごろには奄美地方で梅雨明けしたとみられます(速報値)。

下旬は、太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱く、梅雨前線は本州付近に停滞しやすかったため、北日本・東日本・西日本では曇りや雨の日が多くなりました。梅雨前線の活動が活発となった28日には、山形県を中心に大雨となり、河川の氾濫などの被害が発生しました。降水量は東日本・西日本でかなり多く、日照時間は東日本と西日本日本海側でかなり少なくなりました。東日本太平洋側の降水量は平年比263%で、7月下旬として1961年の統計開始以来第1位の多雨となりました。東日本太平洋側の日照時間は平年比32%で、7月下旬として1961年の統計開始以来第1位の寡照となりました。平均気温は、曇りや雨の日が多かったため日射が少なく、北からの冷たい空気の影響を受ける日もあった北日本・東日本・西日本で低くなった一方、太平洋高気圧に覆われて晴れた日もあった沖縄・奄美では高くなりました。期間の終わりには、太平洋高気圧が張り出したため西日本を中心に晴れの日となり、28日ごろには九州南部で、30日ごろには九州北部地方、四国地方、中国地方で、31日ごろには近畿地方で梅雨明けしたとみられます(速報値)。

### 【7月の検証結果】

「降水の有無」の全国平均の適中率(3～7日目平均)は、例年値<sup>(注)</sup>と同じ67%でした。地方別の適中率では、北海道、北陸、四国、九州北部、九州南部の各地方で例年値を上回りました。

最高気温の予報誤差(2～7日目平均)は、全国平均で例年値よりも0.3℃小さい2.2℃で、九州南部地方を除く各地方で例年値よりも小さくなりました。また、最低気温の予報誤差(2～7日目平均)は、全国平均で例年値よりも0.3℃小さい1.4℃で、北海道、東北、関東甲信、東海、北陸、近畿、中国、四国の各地方で例年値よりも小さくなりました。

(注) 例年値は気象庁HP(予報精度検証)内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

### 【9月の週間天気予報の利用にあたって】

8月に比べ、9月は低気圧や前線が日本付近を通過しやすくなります。低気圧や前線が通過した後は北からの冷た

い空気が流れ込みやすくなるため、晴れても日中の気温が8月ほどには上がりにくく、季節は夏から秋へと次第に変化していきます。また、この時期は昼と夜の気温の差も大きくなります。週間天気予報では、向こう一週間の最高・最低気温の予報を行っていますので、日毎の気温変化とともに、一日の間での気温差にも留意して体調管理等に気をつけてください。